

二神通信

校訓

自主 協力 責任

津久見市立第二中学校
学校通信 第 52 号
令和 2 年 1 月 14 日 (火)
文責 校長 阿部 幸士

～ 新しい年、そして3学期が始まったばかりですが、
中学生の3学期は、立ち向かうべき課題がいくつもやって来る時期です ～

《 1/10 (金)には、1, 2年生が「津久見市学力調査」に取り組みました 》



3学期のこの時期に行う「津久見市学力調査」は、【今の学年で学習してきた内容が、どれだけ自分の中に定着しているか】を確かめるための調査です。

よってこの調査の結果は、1, 2年生一人一人に対して、【どの部分の学習内容が十分に身につについて、どの部分がまだ十分でないのか】を記した個人票として返却されてきます。

この調査の一番大切なところはここです。【この一年の学習でまだ十分に定着していない部分を明らかにして、その部分の補充学習を今年度中に行っていく】ことをねらっているのです。

3学期は一番短い学期です。しかし、次の学年に進むための力を確かなものにする大切な学期でもあります。これからそれぞれの学年で、今年度の学習内容を確かなものにするための補充学習が用意されてきます。大切なのは、【自分の学習が不十分な部分をしっかりと把握して、補充学習に全力で取り組む】ことです。

《 二中生に、生徒会活動の「無言清掃」をこれからどう実現していくかが問われてきます 》

第二中学校の生徒会活動の方向性を提案する議案書の中には、ここ数年ずっと「無言清掃」が提案され、毎回承認されてその活動を全校生徒で行ってきているはずで

では、全校の皆さんに尋ねます。「あなたは、毎日の清掃時間に、無言清掃を確実に実行していますか？」この問いに自信を持って「はい、実行しています」と答えられる人が何人いるでしょう。

私(阿部)は、第二中学校の無言清掃はまだまだ発展途上だと思えます。

自分の担当場所をしっかりと見て、その場所の汚れやきれいにするべき部分がはっきり見えていますか？その汚れをきれいにする時間はたった15分しかありません。お互いに指示する言葉以外、話などしている場合ではないはずで

二中生一人ひとりが、「今日はここをきれいにしなきゃ！」「真剣にやらないと時間内では終わらない！」と思うようになったときに初めて無言清掃が実現するのだろうと考えています。

1/8の大掃除の時間、3年生のこの人たちは、無言清掃を見事に実現してくれていました！



*汚れている部分がはっきり見えて、やるべきことははっきり分かっている人たち

《 私立高校推薦・特奨入試を明日に控え、3年生はいよいよ進路達成に向けた勝負の時期に入ります 》



明日(1/15)は、私立高校推薦・特奨入試の日です。3年生は、いよいよ進路達成のための勝負の時を迎えます。

何度も聞いたことがあると思いますが「受験は団体戦」です。試験本番には自分一人の力で臨みますが、その場で発揮する力の中には、自分の努力だけでなく、仲間との教え合いや切磋琢磨によって培ってきた力が必ずあるはずで

「最後の最後まで自分の力を高めようとする姿」と「教え合い支え合ってみんなで高まろうとする姿」を大切にして、頑張り3年生！